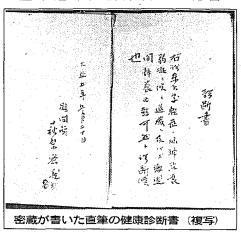
（第３種郵便物認可）　社会

大正時代の健康診断書 県立文書館で偶然発見

朔太郎育てた厳父 医師密蔵の直筆

貴重な研究資料に

詩人、萩原朔太郎の父親で医師の密蔵（一八五七（安政四）年―一九三〇（昭和五）年）が書いた大正時代の健康診断書が四日までに、前橋市文京町の県立文書館に見つかった。萩原朔太郎研究会幹事の石山幸弘さん（五一＝同市上細井町＝）が、朔太郎と関係のある詩人調査していて偶然見つけたもので、「重要」と書かれた直筆の診断書は四人分あった。一昨年オープンした前橋文学館には朔太郎関連の資料がいろいろあるが、密蔵の直筆書類はほとんどなく、朔太郎研究の上で貴重な資料として注目されている。


密蔵が書いた直筆の健康診断書（複写）

厳格な性格で知られる密蔵の列に「足利太田に移住」と整理はそれ以前の出身で、東京大学医学部を卒業した後、明治四十五年に県立病院長として本県に赴任し、副院長などの職を経て同八年、前橋市内に萩原医院を開業した。

医術、人格ともに優れていた密蔵は、前橋市民から「三国さま神様」と言われたほど人望も厚く、一時は医院する患者数人、萩原医院の関係の資料を見ていて気付いた。

奈良はかつて同郡新川村の月田尋常高等小学校で教べんを執ったことがあり、奈良の足跡を調べる一つの手がかりとして、教育関係の資料に目を向けていたところ、密蔵直筆の診断書に遭遇した。

診断書には例えば、「軽度の脳神経衰弱ぎみ」、「過敏なるには似ないが、教職間の

萩原家の人たち。手前が朔太郎、左端が密蔵＝前橋文学館提供

静寞を要する」といった内容が書かれており、最後に「顧問医　萩原密蔵」と署名がある。密蔵は昭和五年一月、一日になったが、翌二日の三毛

新聞に掲載された訃報記事によると、「大正五年学校医会長となり、七年には前橋医師会長となり、十年には前橋医師会長となり、十一年には前橋医師会長となり、十二年には前橋医師会長となり、十三年には前橋医師会長となり、十四年には前橋医師会長となり、十五年には前橋医師会長となり、十六年には前橋医師会長となり、十七年には前橋医師会長となり、十八年には前橋医師会長となり、十九年には前橋医師会長となり、二十年には前橋医師会長となり、二十一年には前橋医師会長となり、二十二年には前橋医師会長となり、二十三年には前橋医師会長となり、二十四年には前橋医師会長となり、二十五年には前橋医師会長となり、二十六年には前橋医師会長となり、二十七年には前橋医師会長となり、二十八年には前橋医師会長となり、二十九年には前橋医師会長となり、三十年には前橋医師会長となり、三十一年には前橋医師会長となり、三十二年には前橋医師会長となり、三十三年には前橋医師会長となり、三十四年には前橋医師会長となり、三十五年には前橋医師会長となり、三十六年には前橋医師会長となり、三十七年には前橋医師会長となり、三十八年には前橋医師会長となり、三十九年には前橋医師会長となり、四十年には前橋医師会長となり、四十一年には前橋医師会長となり、四十二年には前橋医師会長となり、四十三年には前橋医師会長となり、四十四年には前橋医師会長となり、四十五年には前橋医師会長となり、四十六年には前橋医師会長となり、四十七年には前橋医師会長となり、四十八年には前橋医師会長となり、四十九年には前橋医師会長となり、五十年には前橋医師会長となり、五十一年には前橋医師会長となり、五十二年には前橋医師会長となり、五十三年には前橋医師会長となり、五十四年には前橋医師会長となり、五十五年には前橋医師会長となり、五十六年には前橋医師会長となり、五十七年には前橋医師会長となり、五十八年には前橋医師会長となり、五十九年には前橋医師会長となり、六十年には前橋医師会長となり、六十一年には前橋医師会長となり、六十二年には前橋医師会長となり、六十三年には前橋医師会長となり、六十四年には前橋医師会長となり、六十五年には前橋医師会長となり、六十六年には前橋医師会長となり、六十七年には前橋医師会長となり、六十八年には前橋医師会長となり、六十九年には前橋医師会長となり、七十年には前橋医師会長となり、七十一年には前橋医師会長となり、七十二年には前橋医師会長となり、七十三年には前橋医師会長となり、七十四年には前橋医師会長となり、七十五年には前橋医師会長となり、七十六年には前橋医師会長となり、七十七年には前橋医師会長となり、七十八年には前橋医師会長となり、七十九年には前橋医師会長となり、八十年には前橋医師会長となり、八十一年には前橋医師会長となり、八十二年には前橋医師会長となり、八十三年には前橋医師会長となり、八十四年には前橋医師会長となり、八十五年には前橋医師会長となり、八十六年には前橋医師会長となり、八十七年には前橋医師会長となり、八十八年には前橋医師会長となり、八十九年には前橋医師会長となり、九十年には前橋医師会長となり、九十一年には前橋医師会長となり、九十二年には前橋医師会長となり、九十三年には前橋医師会長となり、九十四年には前橋医師会長となり、九十五年には前橋医師会長となり、九十六年には前橋医師会長となり、九十七年には前橋医師会長となり、九十八年には前橋医師会長となり、九十九年には前橋医師会長となり、百年には前橋医師会長となり、百一年には前橋医師会長となり、百二年には前橋医師会長となり、百三年には前橋医師会長となり、百四年には前橋医師会長となり、百五年には前橋医師会長となり、百六年には前橋医師会長となり、百七年には前橋医師会長となり、百八年には前橋医師会長となり、百九年には前橋医師会長となり、百十年には前橋医師会長となり、百十一年には前橋医師会長となり、百十二年には前橋医師会長となり、百十三年には前橋医師会長となり、百十四年には前橋医師会長となり、百十五年には前橋医師会長となり、百十六年には前橋医師会長となり、百十七年には前橋医師会長となり、百十八年には前橋医師会長となり、百十九年には前橋医師会長となり、百二十年には前橋医師会長となり、百二十一年には前橋医師会長となり、百二十二年には前橋医師会長となり、百二十三年には前橋医師会長となり、百二十四年には前橋医師会長となり、百二十五年には前橋医師会長となり、百二十六年には前橋医師会長となり、百二十七年には前橋医師会長となり、百二十八年には前橋医師会長となり、百二十九年には前橋医師会長となり、百三十年には前橋医師会長となり、百三十一年には前橋医師会長となり、百三十二年には前橋医師会長となり、百三十三年には前橋医師会長となり、百三十四年には前橋医師会長となり、百三十五年には前橋医師会長となり、百三十六年には前橋医師会長となり、百三十七年には前橋医師会長となり、百三十八年には前橋医師会長となり、百三十九年には前橋医師会長となり、百四十年には前橋医師会長となり、百四十一年には前橋医師会長となり、百四十二年には前橋医師会長となり、百四十三年には前橋医師会長となり、百四十四年には前橋医師会長となり、百四十五年には前橋医師会長となり、百四十六年には前橋医師会長となり、百四十七年には前橋医師会長となり、百四十八年には前橋医師会長となり、百四十九年には前橋医師会長となり、百五十年には前橋医師会長となり、百五十一年には前橋医師会長となり、百五十二年には前橋医師会長となり、百五十三年には前橋医師会長となり、百五十四年には前橋医師会長となり、百五十五年には前橋医師会長となり、百五十六年には前橋医師会長となり、百五十七年には前橋医師会長となり、百五十八年には前橋医師会長となり、百五十九年には前橋医師会長となり、百六十年には前橋医師会長となり、百六十一年には前橋医師会長となり、百六十二年には前橋医師会長となり、百六十三年には前橋医師会長となり、百六十四年には前橋医師会長となり、百六十五年には前橋医師会長となり、百六十六年には前橋医師会長となり、百六十七年には前橋医師会長となり、百六十八年には前橋医師会長となり、百六十九年には前橋医師会長となり、百七十年には前橋医師会長となり、百七十一年には前橋医師会長となり、百七十二年には前橋医師会長となり、百七十三年には前橋医師会長となり、百七十四年には前橋医師会長となり、百七十五年には前橋医師会長となり、百七十六年には前橋医師会長となり、百七十七年には前橋医師会長となり、百七十八年には前橋医師会長となり、百七十九年には前橋医師会長となり、百八十年には前橋医師会長となり、百八十一年には前橋医師会長となり、百八十二年には前橋医師会長となり、百八十三年には前橋医師会長となり、百八十四年には前橋医師会長となり、百八十五年には前橋医師会長となり、百八十六年には前橋医師会長となり、百八十七年には前橋医師会長となり、百八十八年には前橋医師会長となり、百八十九年には前橋医師会長となり、百九十年には前橋医師会長となり、百九十一年には前橋医師会長となり、百九十二年には前橋医師会長となり、百九十三年には前橋医師会長となり、百九十四年には前橋医師会長となり、百九十五年には前橋医師会長となり、百九十六年には前橋医師会長となり、百九十七年には前橋医師会長となり、百九十八年には前橋医師会長となり、百九十九年には前橋医師会長となり、二百年には前橋医師会長となり、二百一年には前橋医師会長となり、二百二年には前橋医師会長となり、二百三年には前橋医師会長となり、二百四年には前橋医師会長となり、二百五年には前橋医師会長となり、二百六年には前橋医師会長となり、二百七年には前橋医師会長となり、二百八年には前橋医師会長となり、二百九年には前橋医師会長となり、二百十年には前橋医師会長となり、二百十一年には前橋医師会長となり、二百十二年には前橋医師会長となり、二百十三年には前橋医師会長となり、二百十四年には前橋医師会長となり、二百十五年には前橋医師会長となり、二百十六年には前橋医師会長となり、二百十七年には前橋医師会長となり、二百十八年には前橋医師会長となり、二百十九年には前橋医師会長となり、二百二十年には前橋医師会長となり、二百二十一年には前橋医師会長となり、二百二十二年には前橋医師会長となり、二百二十三年には前橋医師会長となり、二百二十四年には前橋医師会長となり、二百二十五年には前橋医師会長となり、二百二十六年には前橋医師会長となり、二百二十七年には前橋医師会長となり、二百二十八年には前橋医師会長となり、二百二十九年には前橋医師会長となり、二百三十年には前橋医師会長となり、二百三十一年には前橋医師会長となり、二百三十二年には前橋医師会長となり、二百三十三年には前橋医師会長となり、二百三十四年には前橋医師会長となり、二百三十五年には前橋医師会長となり、二百三十六年には前橋医師会長となり、二百三十七年には前橋医師会長となり、二百三十八年には前橋医師会長となり、二百三十九年には前橋医師会長となり、二百四十年には前橋医師会長となり、二百四十一年には前橋医師会長となり、二百四十二年には前橋医師会長となり、二百四十三年には前橋医師会長となり、二百四十四年には前橋医師会長となり、二百四十五年には前橋医師会長となり、二百四十六年には前橋医師会長となり、二百四十七年には前橋医師会長となり、二百四十八年には前橋医師会長となり、二百四十九年には前橋医師会長となり、二百五十年には前橋医師会長となり、二百五十一年には前橋医師会長となり、二百五十二年には前橋医師会長となり、二百五十三年には前橋医師会長となり、二百五十四年には前橋医師会長となり、二百五十五年には前橋医師会長となり、二百五十六年には前橋医師会長となり、二百五十七年には前橋医師会長となり、二百五十八年には前橋医師会長となり、二百五十九年には前橋医師会長となり、二百六十年には前橋医師会長となり、二百六十一年には前橋医師会長となり、二百六十二年には前橋医師会長となり、二百六十三年には前橋医師会長となり、二百六十四年には前橋医師会長となり、二百六十五年には前橋医師会長となり、二百六十六年には前橋医師会長となり、二百六十七年には前橋医師会長となり、二百六十八年には前橋医師会長となり、二百六十九年には前橋医師会長となり、二百七十年には前橋医師会長となり、二百七十一年には前橋医師会長となり、二百七十二年には前橋医師会長となり、二百七十三年には前橋医師会長となり、二百七十四年には前橋医師会長となり、二百七十五年には前橋医師会長となり、二百七十六年には前橋医師会長となり、二百七十七年には前橋医師会長となり、二百七十八年には前橋医師会長となり、二百七十九年には前橋医師会長となり、二百八十年には前橋医師会長となり、二百八十一年には前橋医師会長となり、二百八十二年には前橋医師会長となり、二百八十三年には前橋医師会長となり、二百八十四年には前橋医師会長となり、二百八十五年には前橋医師会長となり、二百八十六年には前橋医師会長となり、二百八十七年には前橋医師会長となり、二百八十八年には前橋医師会長となり、二百八十九年には前橋医師会長となり、二百九十年には前橋医師会長となり、二百九十一年には前橋医師会長となり、二百九十二年には前橋医師会長となり、二百九十三年には前橋医師会長となり、二百九十四年には前橋医師会長となり、二百九十五年には前橋医師会長となり、二百九十六年には前橋医師会長となり、二百九十七年には前橋医師会長となり、二百九十八年には前橋医師会長となり、二百九十九年には前橋医師会長となり、三百年には前橋医師会長となり、三百一年には前橋医師会長となり、三百二年には前橋医師会長となり、三百三年には前橋医師会長となり、三百四年には前橋医師会長となり、三百五年には前橋医師会長となり、三百六年には前橋医師会長となり、三百七年には前橋医師会長となり、三百八年には前橋医師会長となり、三百九年には前橋医師会長となり、三百十年には前橋医師会長となり、三百十一年には前橋医師会長となり、三百十二年には前橋医師会長となり、三百十三年には前橋医師会長となり、三百十四年には前橋医師会長となり、三百十五年には前橋医師会長となり、三百十六年には前橋医師会長となり、三百十七年には前橋医師会長となり、三百十八年には前橋医師会長となり、三百十九年には前橋医師会長となり、三百二十年には前橋医師会長となり、三百二十一年には前橋医師会長となり、三百二十二年には前橋医師会長となり、三百二十三年には前橋医師会長となり、三百二十四年には前橋医師会長となり、三百二十五年には前橋医師会長となり、三百二十六年には前橋医師会長となり、三百二十七年には前橋医師会長となり、三百二十八年には前橋医師会長となり、三百二十九年には前橋医師会長となり、三百三十年には前橋医師会長となり、三百三十一年には前橋医師会長となり、三百三十二年には前橋医師会長となり、三百三十三年には前橋医師会長となり、三百三十四年には前橋医師会長となり、三百三十五年には前橋医師会長となり、三百三十六年には前橋医師会長となり、三百三十七年には前橋医師会長となり、三百三十八年には前橋医師会長となり、三百三十九年には前橋医師会長となり、三百四十年には前橋医師会長となり、三百四十一年には前橋医師会長となり、三百四十二年には前橋医師会長となり、三百四十三年には前橋医師会長となり、三百四十四年には前橋医師会長となり、三百四十五年には前橋医師会長となり、三百四十六年には前橋医師会長となり、三百四十七年には前橋医師会長となり、三百四十八年には前橋医師会長となり、三百四十九年には前橋医師会長となり、三百五十年には前橋医師会長となり、三百五十一年には前橋医師会長となり、三百五十二年には前橋医師会長となり、三百五十三年には前橋医師会長となり、三百五十四年には前橋医師会長となり、三百五十五年には前橋医師会長となり、三百五十六年には前橋医師会長となり、三百五十七年には前橋医師会長となり、三百五十八年には前橋医師会長となり、三百五十九年には前橋医師会長となり、三百六十年には前橋医師会長となり、三百六十一年には前橋医師会長となり、三百六十二年には前橋医師会長となり、三百六十三年には前橋医師会長となり、三百六十四年には前橋医師会長となり、三百六十五年には前橋医師会長となり、三百六十六年には前橋医師会長となり、三百六十七年には前橋医師会長となり、三百六十八年には前橋医師会長となり、三百六十九年には前橋医師会長となり、三百七十年には前橋医師会長となり、三百七十一年には前橋医師会長となり、三百七十二年には前橋医師会長となり、三百七十三年には前橋医師会長となり、三百七十四年には前橋医師会長となり、三百七十五年には前橋医師会長となり、三百七十六年には前橋医師会長となり、三百七十七年には前橋医師会長となり、三百七十八年には前橋医師会長となり、三百七十九年には前橋医師会長となり、三百八十年には前橋医師会長となり、三百八十一年には前橋医師会長となり、三百八十二年には前橋医師会長となり、三百八十三年には前橋医師会長となり、三百八十四年には前橋医師会長となり、三百八十五年には前橋医師会長となり、三百八十六年には前橋医師会長となり、三百八十七年には前橋医師会長となり、三百八十八年には前橋医師会長となり、三百八十九年には前橋医師会長となり、三百九十年には前橋医師会長となり、三百九十一年には前橋医師会長となり、三百九十二年には前橋医師会長となり、三百九十三年には前橋医師会長となり、三百九十四年には前橋医師会長となり、三百九十五年には前橋医師会長となり、三百九十六年には前橋医師会長となり、三百九十七年には前橋医師会長となり、三百九十八年には前橋医師会長となり、三百九十九年には前橋医師会長となり、四百年には前橋医師会長となり、四百一年には前橋医師会長となり、四百二年には前橋医師会長となり、四百三年には前橋医師会長となり、四百四年には前橋医師会長となり、四百五年には前橋医師会長となり、四百六年には前橋医師会長となり、四百七年には前橋医師会長となり、四百八年には前橋医師会長となり、四百九年には前橋医師会長となり、四百十年には前橋医師会長となり、四百十一年には前橋医師会長となり、四百十二年には前橋医師会長となり、四百十三年には前橋医師会長となり、四百十四年には前橋医師会長となり、四百十五年には前橋医師会長となり、四百十六年には前橋医師会長となり、四百十七年には前橋医師会長となり、四百十八年には前橋医師会長となり、四百十九年には前橋医師会長となり、四百二十年には前橋医師会長となり、四百二十一年には前橋医師会長となり、四百二十二年には前橋医師会長となり、四百二十三年には前橋医師会長となり、四百二十四年には前橋医師会長となり、四百二十五年には前橋医師会長となり、四百二十六年には前橋医師会長となり、四百二十七年には前橋医師会長となり、四百二十八年には前橋医師会長となり、四百二十九年には前橋医師会長となり、四百三十年には前橋医師会長となり、四百三十一年には前橋医師会長となり、四百三十二年には前橋医師会長となり、四百三十三年には前橋医師会長となり、四百三十四年には前橋医師会長となり、四百三十五年には前橋医師会長となり、四百三十六年には前橋医師会長となり、四百三十七年には前橋医師会長となり、四百三十八年には前橋医師会長となり、四百三十九年には前橋医師会長となり、四百四十年には前橋医師会長となり、四百四十一年には前橋医師会長となり、四百四十二年には前橋医師会長となり、四百四十三年には前橋医師会長となり、四百四十四年には前橋医師会長となり、四百四十五年には前橋医師会長となり、四百四十六年には前橋医師会長となり、四百四十七年には前橋医師会長となり、四百四十八年には前橋医師会長となり、四百四十九年には前橋医師会長となり、四百五十年には前橋医師会長となり、四百五十一年には前橋医師会長となり、四百五十二年には前橋医師会長となり、四百五十三年には前橋医師会長となり、四百五十四年には前橋医師会長となり、四百五十五年には前橋医師会長となり、四百五十六年には前橋医師会長となり、四百五十七年には前橋医師会長となり、四百五十八年には前橋医師会長となり、四百五十九年には前橋医師会長となり、四百六十年には前橋医師会長となり、四百六十一年には前橋医師会長となり、四百六十二年には前橋医師会長となり、四百六十三年には前橋医師会長となり、四百六十四年には前橋医師会長となり、四百六十五年には前橋医師会長となり、四百六十六年には前橋医師会長となり、四百六十七年には前橋医師会長となり、四百六十八年には前橋医師会長となり、四百六十九年には前橋医師会長となり、四百七十年には前橋医師会長となり、四百七十一年には前橋医師会長となり、四百七十二年には前橋医師会長となり、四百七十三年には前橋医師会長となり、四百七十四年には前橋医師会長となり、四百七十五年には前橋医師会長となり、四百七十六年には前橋医師会長となり、四百七十七年には前橋医師会長となり、四百七十八年には前橋医師会長となり、四百七十九年には前橋医師会長となり、四百八十年には前橋医師会長となり、四百八十一年には前橋医師会長となり、四百八十二年には前橋医師会長となり、四百八十三年には前橋医師会長となり、四百八十四年には前橋医師会長となり、四百八十五年には前橋医師会長となり、四百八十六年には前橋医師会長となり、四百八十七年には前橋医師会長となり、四百八十八年には前橋医師会長となり、四百八十九年には前橋医師会長となり、四百九十年には前橋医師会長となり、四百九十一年には前橋医師会長となり、四百九十二年には前橋医師会長となり、四百九十三年には前橋医師会長となり、四百九十四年には前橋医師会長となり、四百九十五年には前橋医師会長となり、四百九十六年には前橋医師会長となり、四百九十七年には前橋医師会長となり、四百九十八年には前橋医師会長となり、四百九十九年には前橋医師会長となり、五百年には前橋医師会長となり、五百一年には前橋医師会長となり、五百二年には前橋医師会長となり、五百三年には前橋医師会長となり、五百四年には前橋医師会長となり、五百五年には前橋医師会長となり、五百六年には前橋医師会長となり、五百七年には前橋医師会長となり、五百八年には前橋医師会長となり、五百九年には前橋医師会長となり、五百十年には前橋医師会長となり、五百十一年には前橋医師会長となり、五百十二年には前橋医師会長となり、五百十三年には前橋医師会長となり、五百十四年には前橋医師会長となり、五百十五年には前橋医師会長となり、五百十六年には前橋医師会長となり、五百十七年には前橋医師会長となり、五百十八年には前橋医師会長となり、五百十九年には前橋医師会長となり、五百二十年には前橋医師会長となり、五百二十一年には前橋医師会長となり、五百二十二年には前橋医師会長となり、五百二十三年には前橋医師会長となり、五百二十四年には前橋医師会長となり、五百二十五年には前橋医師会長となり、五百二十六年には前橋医師会長となり、五百二十七年には前橋医師会長となり、五百二十八年には前橋医師会長となり、五百二十九年には前橋医師会長となり、五百三十年には前橋医師会長となり、五百三十一年には前橋医師会長となり、五百三十二年には前橋医師会長となり、五百三十三年には前橋医師会長となり、五百三十四年には前橋医師会長となり、五百三十五年には前橋医師会長となり、五百三十六年には前橋医師会長となり、五百三十七年には前橋医師会長となり、五百三十八年には前橋医師会長となり、五百三十九年には前橋医師会長となり、五百四十年には前橋医師会長となり、五百四十一年には前橋医師会長となり、五百四十二年には前橋医師会長となり、五百四十三年には前橋医師会長となり、五百四十四年には前橋医師会長となり、五百四十五年には前橋医師会長となり、五百四十六年には前橋医師会長となり、五百四十七年には前橋医師会長となり、五百四十八年には前橋医師会長となり、五百四十九年には前橋医師会長となり、五百五十年には前橋医師会長となり、五百五十一年には前橋医師会長となり、五百五十二年には前橋医師会長となり、五百五十三年には前橋医師会長となり、五百五十四年には前橋医師会長となり、五百五十五年には前橋医師会長となり、五百五十六年には前橋医師会長となり、五百五十七年には前橋医師会長となり、五百五十八年には前橋医師会長となり、五百五十九年には前橋医師会長となり、五百六十年には前橋医師会長となり、五百六十一年には前橋医師会長となり、五百六十二年には前橋医師会長となり、五百六十三年には前橋医師会長となり、五百六十四年には前橋医師会長となり、五百六十五年には前橋医師会長となり、五百六十六年には前橋医師会長となり、五百六十七年には前橋医師会長となり、五百六十八年には前橋医師会長となり、五百六十九年には前橋医師会長となり、五百七十年には前橋医師会長となり、五百七十一年には前橋医師会長となり、五百七十二年には前橋医師会長となり、五百七十三年には前橋医師会長となり、五百七十四年には前橋医師会長となり、五百七十五年には前橋医師会長となり、五百七十六年には前橋医師会長となり、五百七十七年には前橋医師会長となり、五百七十八年には前橋医師会長となり、五百七十九年には前橋医師会長となり、五百八十年には前橋医師会長となり、五百八十一年には前橋医師会長となり、五百八十二年には前橋医師会長となり、五百八十三年には前橋医師会長となり、五百八十四年には前橋医師会長となり、五百八十五年には前橋医師会長となり、五百八十六年には前橋医師会長となり、五百八十七年には前橋医師会長となり、五百八十八年には前橋医師会長となり、五百八十九年には前橋医師会長となり、五百九十年には前橋医師会長となり、五百九十一年には前橋医師会長となり、五百九十二年には前橋医師会長となり、五百九十三年には前橋医師会長となり、五百九十四年には前橋医師会長となり、五百九十五年には前橋医師会長となり、五百九十六年には前橋医師会長となり、五百九十七年には前橋医師会長となり、五百九十八年には前橋医師会長となり、五百九十九年には前橋医師会長となり、六百年には前橋医師会長となり、六百一年には前橋医師会長となり、六百二年には前橋医師会長となり、六百三年には前橋医師会長となり、六百四年には前橋医師会長となり、六百五年には前橋医師会長となり、六百六年には前橋医師会長となり、六百七年には前橋医師会長となり、六百八年には前橋医師会長となり、六百九年には前橋医師会長となり、六百十年には前橋医師会長となり、六百十一年には前橋医師会長となり、六百十二年には前橋医師会長となり、六百十三年には前橋医師会長となり、六百十四年には前橋医師会長となり、六百十五年には前橋医師会長となり、六百十六年には前橋医師会長となり、六百十七年には前橋医師会長となり、六百十八年には前橋医師会長となり、六百十九年には前橋医師会長となり、六百二十年には前橋医師会長となり、六百二十一年には前橋医師会長となり、六百二十二年には前橋医師会長となり、六百二十三年には前橋医師会長となり、六百二十四年には前橋医師会長となり、六百二十五年には前橋医師会長となり、六百二十六年には前橋医師会長となり、六百二十七年には前橋医師会長となり、六百二十八年には前橋医師会長となり、六百二十九年には前橋医師会長となり、六百三十年には前橋医師会長となり、六百三十一年には前橋医師会長となり、六百三十二年には前橋医師会長となり、六百三十三年には前橋医師会長となり、六百三十四年には前橋医師会長となり、六百三十五年には前橋医師会長となり、六百三十六年には前橋医師会長となり、六百三十七年には前橋医師会長となり、六百三十八年には前橋医師会長となり、六百三十九年には前橋医師会長となり、六百四十年には前橋医師会長となり、六百四十一年には前橋医師会長となり、六百四十二年には前橋医師会長となり、六百四十三年には前橋医師会長となり、六百四十四年には前橋医師会長となり、六百四十五年には前橋医師会長となり、六百四十六年には前橋医師会長となり、六百四十七年には前橋医師会長となり、六百四十八年には前橋医師会長となり、六百四十九年には前橋医師会長となり、六百五十年には前橋医師会長となり、六百五十一年には前橋医師会長となり、六百五十二年には前橋医師会長となり、六百五十三年には前橋医師会長となり、六百五十四年には前橋医師会長となり、六百五十五年には前橋医師会長となり、六百五十六年には前橋医師会長となり、六百五十七年には前橋医師会長となり、六百五十八年には前橋医師会長となり、六百五十九年には前橋医師会長となり、六百六十年には前橋医師会長となり、六百六十一年には前橋医師会長となり、六百六十二年には前橋医師会長となり、六百六十三年には前橋医師会長となり、六百六十四年には前橋医師会長となり、六百六十五年には前橋医師会長となり、六百六十六年には前橋医師会長となり、六百六十七年には前橋医師会長となり、六百六十八年には前橋医師会長となり、六百六十九年には前橋医師会長となり、六百七十年には前橋医師会長となり、六百七十一年には前橋医師会長となり、六百七十二年には前橋医師会長となり、六百七十三年には前橋医師会長となり、六百七十四年には前橋医師会長となり、六百七十五年には前橋医師会長となり、六百七十六年には前橋医師会長となり、六百七十七年には前橋医師会長となり、六百七十八年には前橋医師会長となり、六百七十九年には前橋医師会長となり、六百八十年には前橋医師会長となり、六百八十一年には前橋医師会長となり、六百八十二年には前橋医師会長となり、六百八十三年には前橋医師会長となり、六百八十四年には前橋医師会長となり、六百八十五年には前橋医師会長となり、六百八十六年には前橋医師会長となり、六百八十七年には前橋医師会長となり、六百八十八年には前橋医師会長となり、六百八十九年には前橋医師会長となり、六百九十年には前橋医師会長となり、六百九十一年には前橋医師会長となり、六百九十二年には前橋医師会長となり、六百九十三年には前橋医師会長となり、六百九十四年には前橋医師会長となり、六百九十五年には前橋医師会長となり、六百九十六年には前橋医師会長となり、六百九十七年には前橋医師会長となり、六百九十八年には前橋医師会長となり、六百九十九年には前橋医師会長となり、七百年には前橋医師会長となり、七百一年には前橋医師会長となり、七百二年には前橋医師会長となり、七百三年には前橋医師会長となり、七百四年には前橋医師会長となり、七百五年には前橋医師会長となり、七百六年には前橋医師会長となり、七百七年には前橋医師会長となり、七百八年には前橋医師会長となり、七百九年には前橋医師会長となり、七百十年には前橋医師会長となり、七百十一年には前橋医師会長となり、七百十二年には前橋医師会長となり、七百十三年には前橋医師会長となり、七百十四年には前橋医師会長となり、七百十五年には前橋医師会長となり、七百十六年には前橋医師会長となり、七百十七年には前橋医師会長となり、七百十八年には前橋医師会長となり、七百十九年には前橋医師会長となり、七百二十年には前橋医師会長となり、七百二十一年には前橋医師会長となり、七百二十二年には前橋医師会長となり、七百二十三年には前橋医師会長となり、七百二十四年には前橋医師会長となり、七百二十五年には前橋医師会長となり、七百二十六年には前橋医師会長となり、七百二十七年には前橋医師会長となり、七百二十八年には前橋医師会長となり、七百二十九年には前橋医師会長となり、七百三十年には前橋医師会長となり、七百三十一年には前橋医師会長となり、七百三十二年には前橋医師会長となり、七百三十三年には前橋医師会長となり、七百三十四年には前橋医師会長となり、七百三十五年には前橋医師会長となり、七百三十六年には前橋医師会長となり、七百三十七年には前橋医師会長となり、七百三十八年には前橋医師会長となり、七百三十九年には前橋医師会長となり、七百四十年には前橋医師会長となり、七百四十一年には前橋医師会長となり、七百四十二年には前橋医師会長となり、七百四十三年には前橋医師会長となり、七百四十四年には前橋医師会長となり、七百四十五年には前橋医師会長となり、七百四十六年には前橋医師会長となり、七百四十七年には前橋医師会長となり、七百四十八年には前橋医師会長となり、七百四十九年には前橋医師会長となり、七百五十年には前橋医師会長となり、七百五十一年には前橋医師会長となり、七百五十二年には前橋医師会長となり、七百五十三年には前橋医師会長となり、七百五十四年には前橋医師会長となり、七百五十五年には前橋医師会長となり、七百五十六年には前橋医師会長となり、七百五十七年には前橋医師会長となり、七百五十八年には前橋医師会長となり、七百五十九年には前橋医師会長となり、七百六十年には前橋医師会長となり、七百六十一年には前橋医師会長となり、七百六十二年には前橋医師会長となり、七百六十三年には前橋医師会長となり、七百六十四年には前橋医師会長となり、七百六十五年には前橋医師会長となり、七百六十六年には前橋医師会長となり、七百六十七年には前橋医師会長となり、七百六十八年には前橋医師会長となり、七百六十九年には前橋医師会長となり、七百七十年には前橋医師会長となり、七百七十一年には前橋医師会長となり、七百七十二年には前橋医師会長となり、七百七十三年には前橋医師会長となり、七百七十四年には前橋医師会長となり、七百七十五年には前橋医師会長となり、七百七十六年には前橋医師会長となり、七百七十七年には前橋医師会長となり、七百七十八年には前橋医師会長となり、七百七十九年には前橋医師会長となり、七百八十年には前橋医師会長となり、七百八十一年には前橋医師会長となり、七百八十二年には前橋医師会長となり、七百八十三年には前橋医師会長となり、七百八十四年には前橋医師会長となり、七百八十五年には前橋医師会長となり、七百八十六年には前橋医師会長となり、七百八十七年には前橋医師会長となり、七百八十八年には前橋医師会長となり、七百八十九年には前橋医師会長となり、七百九十年には前橋医師会長となり、七百九十一年には前橋医師会長となり、七百九十二年には前橋医師会長となり、七百九十三年には前橋医師会長となり、七百九十四年には前橋医師会長となり、七百九十五年には前橋医師会長となり、七百九十六年には前橋医師会長となり、七百九十七年には前橋医師会長となり、七百九十八年には前橋医師会長となり、七百九十九年には前橋医師会長となり、八百年には前橋医師会長となり、八百一年には前橋医師会長となり、八百二年には前橋医師会長となり、八百三年には前橋医師会長となり、八百四年には前橋医師会長となり、八百五年には前橋医師会長となり、八百六年には前橋医師会長となり、八百七年には前橋医師会長となり、八百八年には前橋医師会長となり、八百九年には前橋医師会長となり、八百十年には前橋医師会長となり、八百十一年には前橋医師会長となり、八百十二年には前橋医師会長となり、八百十三年には前橋医師会長となり、八百十四年には前橋医師会長となり、八百十五年には前橋医師会長となり、八百十六年には前橋医師会長となり、八百十七年には前橋医師会長となり、八百十八年には前橋医師会長となり、八百十九年には前橋医師会長となり、八百二十年には前橋医師会長となり、八百二十一年には前橋医師会長となり、八百二十二年には前橋医師会長となり、八百二十三年には前橋医師会長となり、八百二十四年には前橋医師会長となり、八百二十五年には前橋医師会長となり、八百二十六年には前橋医師会長となり、八百二十七年には前橋医師会長となり、八百二十八年には前橋医師会長となり、八百二十九年には前橋医師会長となり、八百三十年には前橋医師会長となり、八百三十一年には前橋医師会長となり、八百三十二年には前橋医師会長となり、八百三十三年には前橋医師会長となり、八百三十四年には前橋医師会長となり、八百三十五年には前橋医師会長となり、八百三十六年には前橋医師会長となり、八百三十七年には前橋医師会長となり、八百三十八年には前橋医師会長となり、八百三十九年には前橋医師会長となり、八百四十年には前橋医師会長となり、八百四十一年には前橋医師会長となり、八百四十二年には前橋医師会長となり、八百四十三年には前橋医師会長となり、八百四十四年には前橋医師会長となり、八百四十五年には前橋医師会長となり、八百四十六年には前橋医師会長となり、八百四十七年には前橋医師会長となり、八百四十八年には前橋医師会長となり、八百四十九年には前橋医師会長となり、八百五十年には前橋医師会長となり、八百五十一年には前橋医師会長となり、八百五十二年には前橋医師会長となり、八百五十三年には前橋医師会長となり、八百五十四年には前橋医師会長となり、八百五十五年には前橋医師会長となり、八百五十六年には前橋医師会長となり、八百五十七年には前橋医師会長となり、八百五十八年には前橋医師会長となり、八百五十九年には前橋医師会長となり、八百六十年には前橋医師会長となり、八百六十一年には前橋医師会長となり、八百六十二年には前橋医師会長となり、八百六十三年には前橋医師会長となり、八百六十四年には前橋医師会長となり、八百六十五年には前橋医師会長となり、八百六十六年には前橋医師会長となり、八百六十七年には前橋医師会長となり、八百六十八年には前橋医師会長となり、八百六十九年には前橋医師会長となり、八百七十年には前橋医師会長となり、八百七十一年には前橋医師会長となり、八百七十二年には前橋医師会長となり、八百七十三年には前橋医師会長となり、八百七十四年には前橋医師会長となり、八百七十五年には前橋医師会長となり、八百七十六年には前橋医師会長となり、八百七十七年には前橋医師会長となり、八百七十八年には前橋医師会長となり、八百七十九年には前橋医師会長となり、八百八十年には前橋医師会長となり、八百八十一年には前橋医師会長となり、八百八十二年には前橋医師会長となり、八百八十三年には前橋医師会長となり、八百八十四年には前橋医師会長となり、八百八十五年には前橋医師会長となり、八百八十六年には前橋医師会長となり、八百八十七年には前橋医師会長となり、八百八十八年には前橋医師会長となり、八百八十九年には前橋医師会長となり、八百九十年には前橋医師会長となり、八百九十一年には前橋医師会長となり、八百九十二年には前橋医師会長となり、八百九十三年には前橋医師会長となり、八百九十四年には前橋医師会長となり、八百九十五年には前橋医師会長となり、八百九十六年には前橋医師会長となり、八百九十七年には前橋医師会長となり、八百九十八年には前橋医師会長となり、八百九十九年には前橋医師会長となり、九百年には前橋医師会長となり、九百一年には前橋医師会長となり、九百二年には前橋医師会長となり、九百三年には前橋医師会長となり、九百四年には前橋医師会長となり、九百五年には前橋医師会長となり、九百六年には前橋医師会長となり、九百七年には前橋医師会長となり、九百八年には前橋医師会長となり、九百九年には前橋医師会長となり、九百十年には前橋医師会長となり、九百十一年には前橋医師会長となり、九百十二年には前橋医師会長となり、九百十三年には前橋医師会長となり、九百十四年には前橋医師会長となり、九百十五年には前橋医師会長となり、九百十六年には前橋医師会長となり、九百十七年には前橋医師会長となり、九百十八年には前橋医師会長となり、九百十九年には前橋医師会長となり、九百二十年には前橋医師会長となり、九百二十一年には前橋医師会長となり、九百二十二年には前橋医師会長となり、九百二十三年には前橋医師会長となり、九百二十四年には前橋医師会長となり、九百二十五年には前橋医師会長となり、九百二十六年には前橋医師会長となり、九百二十七年には前橋医師会長となり、九百二十八年には前橋医師会長となり、九百二十九年には前橋医師会長となり、九百三十年には前橋医師会長となり、九百三十一年には前橋医師会長となり、九百三十二年には前橋医師会長となり、